

総合的な学習の時間 学習指導案

北広島町立芸北中学校

授業者 T1 中川 大輝

T2 森長 泰恵

栗栖 裕司

- 1 日 時 令和4年10月12日(水) 5校時(13:40~14:30)
- 2 場 所 第1学年教室
- 3 学 年 第1学年(10名)
- 4 単元名 芸北の宝で地域おこし「目指せ!芸北ジュニアトレッキングガイド」
- 5 単元について

(1) 単元観

本単元は、本校の3年間を通じた総合的な学習の時間の活動である「芸北の宝で地域おこし」の最初に設定された単元である。「芸北ジュニアトレッキングガイド」とは、芸北地域で実際に行われている芸北トレッキングガイドをもとに作られたもので、芸北にある豊かな自然を様々な人に伝えていくことを目的として実施している。多くの生徒は小学生のときに芸北地域の資源をいかした「せどやま教室」などの総合的な学習の時間の取組を通して、芸北の豊かな自然について学んできた。中学校では、その豊かな自然をいかしたトレッキングガイドの取組を行う。

「芸北ジュニアトレッキングガイド」の取組は、4つの段階から成り立っている。

第1段階は、八幡湿原に行き、実際にガイドをしてもらう「試しの体験」である。実際に芸北でトレッキングガイドをされているプロのガイドさんからトレッキングガイドの魅力やノウハウを教えてもらいながら、本単元の見通しとトレッキングガイドになるための展望をもつ。

第2段階は、トレッキングガイドになるための「ガイド講習会」の受講である。北広島町教育委員会生涯学習課主任学芸員の白川勝信さんと「試しの体験」に協力していただいたプロのガイドさんからガイドとしての心得を学ぶ。講習会の最後には、ガイド検定試験を受け、ジュニアトレッキングガイドとして認定される。

第3段階は、芸北小学校との合同行事である小中合同遠足の場合を生かして、小学生を実際にガイドする活動である。遠足で実際に登る芸北の山(令和4年度は臥龍山、高岳)の下見に行き、その後各グループで1日の日程を計画し、小学生をガイドしていく。中学生は各学年ごとに分かれた小学生を1グループ2人でガイドする。実際にガイドをすることで、トレッキングガイドに必要な3要素(安全・安心、知識・技能、雰囲気づくり)を意識してガイドをすることの大変さを実感する。

第4段階は、八幡湿原で一般の方をガイドする活動と本単元のまとめである。小学生をガイドしたことを通じて自分自身のガイドと仲間のガイドを振り返り、ガイドとしての心得を再確認するとともに、本番までに必要な宣伝や下見、準備などに取り組む。本番終了後、自分自身のガイドと仲間のガイドを振り返るとともに、本単元のまとめとして、後輩や地域の人に自分達の取組を伝えていくために、発表資料を作成する。取り組んできたこと、課題をどう改善していったか、そのことを通じて自分達にどういう力が付いたのかを発表する。

芸北の豊かな自然を案内するトレッキングガイドになる学習をし、実際に小学生や一般の人を案内する活動を通して、芸北の自然のすばらしさを実感し、それを広める意欲をもつとともに、目標を達成する過程でぶつかる様々な「妨げ」を乗り越え、仲間と共にやり抜く力を身に付けることが

できる。

(2) 生徒観

「1学期学校定期アンケート」より

令和4年度「1学期学校定期アンケート」質問事項において、地域に関わる質問及び1年生の回答は右の通りであった。「ふるさと芸北が好き」という項目(①)では、回答した1年生全員が肯定的な回答をしており、自分の住んでいる地域に対しては良いイメージをもっていることが分かる。地域との関わりについての質問(④)でも、多くの生徒が地域と積極的に関わりをもっていることが分かる。

質問事項	肯定的回答	否定的回答
①私は、ふるさと芸北が好きです。	100.0%	0.0%
②私は、将来、北広島町で暮らしたいと考えています。	50.0%	50.0%
③私は、将来、北広島町で働きたいと考えています。	50.0%	50.0%
④私は、近所の人や地域の人と関わったり、地域の行事に積極的に参加しています。	87.5%	12.5%

一方で、将来についての質問(②、③)では、①、④の質問よりも数値が低下しており、自分の住む地域で将来仕事を見つけ、暮らしていくことに魅力を感じていない生徒も多くいることが分かる。

(3) 指導観

本単元の指導にあたっては、以上のような生徒の実態を踏まえ、「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総合的な学習の時間編」に記載してある、「目標(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。」を特に重視して進めていく。本單元では、「芸北の宝で地域おこし」の活動のなかで、生徒がより地域の自然の良さを知り、将来芸北の地域おこしのために取り組んでくれるような生徒の育成も大きな目的の一つとしている。この目的の達成のために、下見・本番を繰り返す中で、目指す理想の姿と現在の自分の姿を比較したり、他者との比較をしたりすることで自己の成長や課題に気づかせる。さらに、その課題に対する視点や発想を柔軟に転換したり、これからの生活に役立てようとする姿勢を育てることで、「多面的・多角的な見方・考え方」を確実に身につけさせたい。

単元を進めていくうえで、妨げとなる二つの場を設定している。一つは、ガイドのプロからガイドのノウハウを学び、実際にガイドをすることである。プロのガイドと自分自身のガイドを比較することで、そこには大きな差があることを毎回の活動で認知することとなる。その理想のガイド像と今の自分自身のガイドを何度も比較し、改善していくことを繰り返すことで、課題を解決する力を身に付けていくことができる。

もう一つの妨げは、一般の方をガイドすることを2回目の本番で設定していることである。1回目のガイドでは、生徒がよく知っている芸北小学校の児童をガイドすることで、程よい緊張感を持ちながらガイドをすることができる。しかし、一般の方をガイドすることで、1回目とは全く違う更なる緊張感と不安感を与え、そのストレスへの対応が必須になる。また、芸北外から来られる方々に芸北の魅力を伝えるためには様々な工夫を重ねる必要がある。以上のように、より厳しい妨げが生まれる場を設定し、それを力を合わせて乗り越えていくことで、課題を解決していく力を付けさせていきたい。

また、単元の最後には自分たちの取組についてまとめ、発表する活動を実施する。自らの課題や成長をふり返り、相手に分かりやすく伝えるための工夫を考えることで、表現力の育成も期待できる。

6 単元の概要

(1) 単元の目標

芸北には豊かな自然があることを実感し、トレッキングガイドに必要な3要素(安全・安心、知識・技能、雰囲気づくり)を意識しながら、ガイド成功に向けての取組を繰り返すことを通して、仲間と協働して主体的に課題解決に取り組む姿勢を身に付け、芸北の地域活性化につなげていこうとする態度を育てる。

(2) 単元で身につけさせたい資質・能力

【知識及び技能】

- 場面に応じて自分の役割を果たし、力を合わせて働く力。(協働する力)
- 安全・安心な環境づくりに積極的に取り組み、いざという時に適切に対応できる力。(安全・安心をつくる力)

【思考力、判断力、表現力等】

- 探究的な学習の過程を繰り返し、より良く解決する力。(課題解決力)
- 人や物・事を様々な見方で見て、考え、そして受け止める力。(多面的・多角的な見方・考え方)

【学びに向かう力、人間性等】

- 自分の力を信じ、目標に向かって前進する力。(意志力)
- ストレスに対して柔軟に考え、行動意欲を回復する力。(自己回復力)

(3) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①自分の役割を理解し、仲間と力を合わせながら、最後まで自分の役割を果たそうと努力することができる。(協働する力)	①問題場面に対して、探究的な学習の過程を活用しながら解決することができる。(課題解決力)	①めざす自分を達成するために、自己が正しいと思う具体的な行動を選択し、計画的に実行することができる。(意志力)
②問題場面に対して、危険を予測することができるとともに、危険発生時には事前に予測していた対応の仕方ができる。(安全・安心をつくる力)	②活動を通し、様々な視点で目指す理想の姿と現在の自分との比較をしたり、他者と比較をしたりすることで、自己の成長や課題に気づき、前向きに物事を捉えることができる。(多面的・多角的な見方・考え方)	②ストレスに対する自分の特性を理解し、自分なりのストレスの乗り越え方を見つけ、行動意欲を回復しようとすることができる。(自己回復力)

(4) 単元計画 (全 40 時)

節	時数	ねらい・学習活動	評価			
			知	思	態	評価方法
1	6	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">課題設定</div> <ul style="list-style-type: none"> ・芸北の活性化を目的として、トレッキングガイドを計画する。 ・試しの体験として八幡湿原に行き、実際にガイドをしてもらう。 			①	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動 ・振り返りシート
2	4	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">情報収集</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイドとしての心得をプロのガイドから学ぶ。 	②			<ul style="list-style-type: none"> ・検定試験 ・話し合い活動
3	7	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">情報収集</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 10px;">整理・分析</div> <ul style="list-style-type: none"> ・小中合同遠足に向けて、実際に登る山の下見に各グループで行く。 ・下見の振り返りを行い、本番のための準備を各グループで行う。 	②	①	②	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシート ・話し合い活動
4	1	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">整理・分析</div> <ul style="list-style-type: none"> ・小中合同遠足の振り返りを行う。 		①		<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシート
5	8	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">課題設定</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 10px;">情報収集</div> <ul style="list-style-type: none"> ・1学期の活動を振り返り、ガイドとしての心得や目的を再確認する。 ・一般の方をガイドするために八幡湿原に下見に行く。 ・下見の振り返りを行い、本番のための準備を各グループで行う。 	②	①	①	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・話し合い活動 ・振り返りシート
6	10	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">整理・分析</div> <ul style="list-style-type: none"> ・トレッキングガイド本番 ・ガイドのふり返しを行う。 	①	①	②	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動
7	4 本時 2 ／ 4	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">まとめ・表現</div> <ul style="list-style-type: none"> ・「芸北ジュニアトレッキングガイド」のまとめを行い、発表する。 		②		<ul style="list-style-type: none"> ・発表資料

(5) 実践記録

節	時数	ねらい・学習活動	実践記録
1	6	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">課題設定</div> <ul style="list-style-type: none"> ・芸北の活性化を目的として、トレッキングガイドを計画する。 ・試しの体験として八幡湿原に行き、実際にガイドをしてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・芸北中学校の総合的な学習の時間の学習について。 ・身につけたい資質・能力について。 ・トレッキングガイドの計画について。 <ul style="list-style-type: none"> →一般のお客様へのガイドの時期はいつにするか、何日間、何時間行うかなどについて考えた。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>※確認程度。生徒たちは入学したばかりで、先の目途を立てるのは難しい状態。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・試しの体験 <ul style="list-style-type: none"> →プロのガイドの方に八幡湿原をガイドしていただき、アドバイスをいただきながら気づきなどをメモし、今後のガイドに生かすための学習を行った。
2	4	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">情報収集</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイドとしての心得をプロのガイドから学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トレッキングガイド講習会 <ul style="list-style-type: none"> →(学芸員)白川勝信さんやトレッキングのガイドさんに来校していただき、ガイドとしての心得等についての学習を行った。 ①白川さんやガイドさんに講義していただき、検定資料にメモを取る。 ②検定問題にチャレンジ。 ③答え合わせをしながら、本時の学習を振り返る。
3	7	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-right: 10px; margin-bottom: 5px;">情報収集</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">整理・分析</div> <ul style="list-style-type: none"> ・小中合同遠足に向けて、実際に登る山の下見に各グループで行く。 ・下見の振り返りを行い、本番のための準備を各グループで行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・下見 <ul style="list-style-type: none"> →①臥龍山(高学年担当)チームと高岳(低学年担当)チームに分かれて登山。ガイドさんのガイドを受けながら、山に関する知識を学び、登山中注意しなくてはいけないことなどを実際に体験してみることで、本番に備えた。 ②下見終了後、各グループでガイド計画を立てた。
<p>※小中合同遠足(本番)は、授業カウントが「行事」のため、単元計画に書かれていない。</p>			
4	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">整理・分析</div> <ul style="list-style-type: none"> ・小中合同遠足の振り返りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返り <ul style="list-style-type: none"> →遠足終了後、一緒に登って下さった小学校の先生方に応えていただいたアンケートと自分たちが記入したワークシート、クロムブックを使って振り返りを行った。アンケートに書いてあった改善点について話し合い、次のトレッキングガイド(一般の方対象)に向けての作戦を考えた。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>※初めの説明やガイドをするときのお客様との距離の取り方、声の出し方など、実際にガイドをしてみて初めてわかることなど多々あり。</p> </div>

5	8	<div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 5px;"> 課題設定 情報収集 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・1学期の活動を振り返り、ガイドとしての心得や目的を再確認する。 ・一般の方をガイドするために八幡湿原に下見に行く。 ・下見の振り返りを行い、本番のための準備を各グループで行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の振り返り。 ・本番に向けての準備。 <p>→①宣伝方法の決定。何で宣伝するか（テレビ、ポスター、チラシ、Facebook）。どこに宣伝協力を依頼するか。</p> <p>②日程の決定。2日間（両日とも午前中）。</p> <p>③応募方法について。QRコードとFAXで受け付けることに決まった。</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>※生徒たちは、地方版のテレビ番組で宣伝してほしい気持ちが強かったため、テレビ番組に依頼するにはどうするかテレビ局に問い合わせ、依頼書を作成した。問い合わせは生徒にさせたかったが、時間が取れず、教員が行った。依頼書は生徒が作成した。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・一般の方対象のガイドのための下見。（八幡湿原）
6	10	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">整理・分析</div> <ul style="list-style-type: none"> ・トレッキングガイド本番 ・ガイドの振り返りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本番（9月29日、30日） <p>→①両日合わせて22名の申し込みがあった。</p> <p>②4月からずっと本校の生徒にガイドを教えてくださいとお願いしていたガイドさんが1名来てくださり、ガイド終了後に感想とアドバイスを下さった。</p> <p>③29日のガイド終了後の午後に、各グループで30日のガイドをより良いものにするための振り返りを行った。緊張状態の中、初対面の人に声をかけ、説明をすることの難しさを感じたとの声が生徒よりあった。</p> <p>④ガイドに参加して下さった一般の方に、ガイド終了後アンケートの記入をお願いし、振り返りに活用した。</p>
7	4 本 時 2 ／ 4	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">まとめ・表現</div> <ul style="list-style-type: none"> ・「芸北ジュニアトレッキングガイド」のまとめを行い、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「教育の集い」での発表。 <p>→トレッキングガイドの活動について、「教育の集い」で発表した。（クラスで選ばれた代表1グループ）</p> <p>※「教育の集い」＝芸北地区の小学校、中学校、高等学校の児童生徒が各学校で学習したことを地域の方に発表する場。</p>

7 本時について

(1) 本時の目標

トレッキングガイドを通して課題をどう乗り越えたのか、どのような力が身についたのかを交流し合い、発表する内容を整理することができる。

(2) 本時の評価規準

活動を通し、様々な視点で目指す理想の姿と現在の自分との比較をしたり、他者との比較をしたりすることで、自己の成長や課題に気づき、前向きに物事を捉えることができる。

(多面的・多角的な見方・考え方)

(3) 準備物 ワークシート、ホワイトボード、Chromebook、電子黒板

(4) 本時の展開

学習活動	◇指導上の留意点 ◆「努力を要する」と判断した生徒への指導の手立て	評価規準【観点】 (方法)
1 本時のねらいを確認する。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> トレッキングガイドでの自分たちの課題や成長を交流し合い、発表する内容を整理しよう。 </div>		
2 グループごとに課題や成長を発表し合う。 3 再度グループで課題と成長について考える。 4 発表のテーマを決める。 5 発表のアウトラインを作成する。	◇前時に使用した Jamboard をもとに発表する。 ◇他のグループの発表をもとに自分たちの取組をふり返り、「課題をどう乗り越えたか」を具体的にまとめる。 ◆他のグループが触れていた点について、自分たちはどうだったか考えさせる。 ◇発表のテーマを決め、ホワイトボードに記入する。 ◆自分たちが最も頑張ったこと、最も成長したと思うことは何か考えさせる。 ◇決めたテーマを理由とともに発表する。 ◇グループごとに発表の流れを整理し、Google ドキュメント内のワークシートに記入する。(このワークシートは次時に印刷して使用する。)	<p>【多面的・多角的な見方・考え方】</p> 活動を通し、様々な視点で目指す理想の姿と現在の自分との比較をしたり、他者との比較をしたりすることで、自己の成長や課題に気づき、前向きに物事を捉えることができる。 (Google ドキュメント内のワークシート) (行動観察)
6 次時の予定を伝える。		

(5) 板書計画

めあて

トレッキングガイドでの自分たちの課題や成長を交流し合い、発表する内容を整理しよう。

発表のテーマ

1班

2班

3班

4班

	レベル1 (もう少し)	レベル2 (合格)	レベル3 (優れている)	
知識・技能	協働する力	自分の役割を理解し、仲間と力を合わせながら活動することができ、 <u>最後まで自分の役割を果たそうと努力することができ</u> 。	自分の役割を理解し、仲間と力を合わせながら、 <u>最後まで自分の役割を果たそうと努力することができ</u> 。	学習の目的や目標をもとにして、自分の役割を見極め、 <u>他者の視点や立場を尊重しながら合意形成を図り、活動することができ</u> 。
	安全・安心をつくる力	問題場面に対して、 <u>危険を予測することができ</u> 。	問題場面に対して、 <u>危険を予測することができるとともに、危険発生時には事前に予測していた対応の仕方ができ</u> 。	問題場面に対して、 <u>危険を予測することができるとともに、危険発生時には自ら考え、その場に応じた対応をすることができ</u> 。
思考・判断・表現	課題解決力	問題場面に対して、 <u>探究的な学習の過程を活用しようとしている</u> 。	問題場面に対して、 <u>探究的な学習の過程を活用しながら解決することができ</u> 。	問題場面に対して、 <u>探究的な学習の過程を活用しながら解決し、これからの生活に役立てようとする</u> ことができる。
	多面的・多角的な見方・考え方ができる力	活動を通し、 <u>自らの意見を中心として内容(一活動したこと)の振り返りができ</u> 。	活動を通し、 <u>様々な視点で目指す理想の姿と現在の自分の自との比較をしたり、他者との比較をすること</u> で、 <u>自己の成長や課題に気づき、前向きに物事を捉えることができ</u> 。	活動を通し、 <u>様々な視点で目指す理想の姿と現在の自分の自との比較をしたり、他者との比較をすること</u> で、 <u>自己の成長や課題に気づき、視点柔軟に転換すること</u> で、 <u>これからの生活に役立てようとする</u> ことができる。
主体的に学習に取り組む姿勢	意志力	めざす自分を達成するために、 <u>自己が正しいと思う行動を選択し、実行しようとしている</u> 。	めざす自分を達成するために、 <u>自己が正しいと思う具体的な行動を選択し、計画的に実行することができ</u> 。	めざす自分を達成するために、 <u>状況に応じた行動を的確に選択し、立案した計画を意欲的・継続的に実行しようとする</u> ことができる。
	自己回復力	ストレスに対し、 <u>自分なりのストレスの乗り越え方を見つけて出そうとする</u> ことができる。	ストレスに対する <u>自分の特性を理解し、自分なりのストレスの乗り越え方を見つけて、行動意欲を回復しようとする</u> ことができる。	ストレスに対する <u>自分の特性を理解し、いかなる場面においても柔軟にストレスを乗り越える方法を見つけて出し、その方法を活かす</u> ことで、 <u>行動意欲を回復することができ</u> 。